

大コレクション展

第Ⅱ期「旅する画家」

はじまるよー



美術館通信

vol.42

2022.7.15

7/23(土)~8/21(日)



「会津の画家」齋藤清は、「旅する画家」でもありました。アメリカ、メキシコ、フランス、タヒチ、インドなどー世界10カ国を旅しました。その行く先々で出会った風物、そして、人々の姿を描いた作品が登場します。今回は、数々のスケッチに注目！画家の目が捉えた旅路を、追体験してみませんか？

スタンプラリー参加中の方はリーフレットをお忘れなく

vol.4

会期中のイベント

：第1回：



館長講座

7/23(土) 14:00-15:30

「富を求めるのは可能性の保持のためー寄付の文化が育んだアメリカの美術館」



第Ⅱ期 /

学芸員講座

8/20(土) 14:00-15:30

「大コレクション展」のミカタ!

ギャラリートーク

14:00~(30分程度)

7/24(日)、8/7(日)、8/14(日)



美術館の舞台裏



匠の技

創造力

つまり、月に一回のペースで
展示替えをしているのです！



現在、開催中の
「大コレクション展」は、
一年かけて11回の展示をします。

どんな様子で作業を
しているのか、見に行くと：



展示替え期間も短いため、

翌日にはプロの方がまたまた
手際良く作品を展示していました。



会期の最終日、閉館後に
美術館チームで作品を手際良く
下ろし、

陰で支えてくれる方々のおかげで、
美しい展示が出来上がって
いるんだと、しみじみ思いました。



2, 3 日で展示作品が
見事に入れ替わっていました。

先日、放課後子ども教室を対象に、
紙コップを積む
ワークショップを行いました。

KOPPU



みなさんこんにちは。
地域おこし協力隊の塚原です。

ウズウズし出す子どもたち。



真っ白い紙コップを見ると

初めは少人数で集まって積んで
いましたが、徐々にみんなで協力
し合う流れに：



まずは、各々の好きな様に積んで
いきます。

みんなで協力した方が、
大きいタワーができる。
当たり前ですが、大事なことに
気づかされたワークショップでした。



最後は、子どもたちの身長を越す
ほどの紙コップタワーがいくつも
出来上がっていました。